紹介文

電動チェーンソーのチェーン部分がむき出しで収納する時に危ないので、木材を貼り合わせて専用のヘッドカバーを作ってみました。もともとカバーが付いているのもありますがこれは無かったので、必須アイテムとなりました。

材料

シナベニヤ4mm厚　１枚  
ボルト・ナット・ワッシャー　６セット  
サドルバンド（小）　１個  
ウレタン塗料（レッド）　１缶  
パラコード40cm　１本  
コードストッパー　１個

手順１

チェーンソーのチェーンが出ている部分をカバーしたいので、その部分のサイズを計測します。

手順２

特に重要になりそうなのがチェーンの幅。5mm弱の幅なので、6mmくらいの隙間があれば入るかな？という予想をたてました。

手順３

計測して設計した長さに、厚さ6mmのシナベニヤを切って３枚を貼り合わせることにしました。

手順４  
のっぺらぼうのカバーでは面白くないので、見た目の飾り用の穴を13mmボアビットで開けます。均等な間隔になるようにあけました。ちょっとしたゴミや切りカスを逃がす穴にもなります。

手順５

表面を整えた３枚の板をウレタン塗装のレッドで塗って、貼り合わせました。（塗装前の写真を忘れてしまいましたが^^;）ボルト穴を真っ直ぐ貫通させて、ボルトで固定してしまえばクランプ＆ボンド乾燥の工程を省けます。

手順６  
真ん中の板は、チェーンソーのソーチェン＆ガイドバーが入るスペースを開けて切り抜いて接着しました。

手順７

一番手前のボルトを一旦外し、ネジ穴を１つ追加して、小さいサドルバンドを取り付けます。

手順８

そこに約40cmのパラコード（キャンプや登山などで使うロープ）を通してコードストッパーで留めて完成！

手順９

カバーをかぶせてみると・・・スススっと入りました！キツくもなく、緩くもなくいいかんじです。チェーンソー本体の形状に合わせてカバーの根元はナナメに加工しました。

手順１０

根元まで入ったら先ほどのパラコードとストッパーを緩めてハンドガードにひっかけてまた締めます。そうすると、何かの拍子にカバーが外れてしまうことを防止できます。

手順１１

等間隔で開けた穴がアクセントになって、見た目も本体になじんだ使いやすいカバーとなりました。

コツ

ソーチェンの幅＋1mmくらいの隙間で作ると良いようです。余裕をもたせたい場合は多少ゆるめに作っても良いと思います。